

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

12
2020

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2650 2020-21 Vol. 6

姉川



ロータリーは機会の扉を開く

2020-21年度
国際ロータリーテーマ

国際ロータリー会長
ホルガー・クナーク

Rotary



ロータリーの原点に戻る

誠意をもって語り合い、勇気をもって共に未来へ

国際ロータリー
第2650地区スローガン

国際ロータリー第2650地区
ガバナー
松原 六郎

C O N T E N T S

- P2 ……ガバナーメッセージ
- P4 ……ガバナー公式訪問
- P8 ……就任にあたって (委員長・ガバナー補佐)
- P10 ……命を守り、経済を守る
— 原点に返ろう —

- P11 ……会員数の増減及び出席率表
- P12 ……会員の動き
- P12 ……新型コロナウイルス感染症対策
支え合い特別表彰

疾病予防と治療月間

ワクチンとコールドチェーン

子供たちが笑顔でいられるために、ロータリーのミッションはこれからも続ける必要があります。

新型コロナウイルスのワクチン開発競争が続いています。同時に、各国は完成したワクチンの争奪戦の準備を着々と進めています。そして、もう一つ大きな問題となっているのが、出来上がったワクチンの輸送です。ワクチンはそれぞれその温度管理が大切になり、新型コロナウイルスに対するワクチンの一部はマイナス60℃から80℃と超低温を保ちながら輸送しなければならなくなりそうなのです。この温度で5000万人から6000万人分のワクチンを空輸するという課題をどう解決するか。今、大きな問題としてクローズアップされています。そして、このようにワクチンを低温の状態接種を受ける人のところまで運んだり、保存したりする流れのことをコールドチェーンと言います。

厄介なことに、ポリオの生ワクチンの最適な保存温度は2～8℃とされており、凍結させてはいけないとされています。一方、水痘ワクチンとインフルエンザの弱毒生ワクチンはマイナス15℃以下で保存を続ける必要があり、このことが原因でワクチン保存法に関する混乱を生じていることも事実です。過去には17～37%のワクチンが誤った温度で保存されており、誤りの多くは低すぎる温度での保存であったとの報告でした。折角のワクチンが台無しになってしまうのです。ガイドラインには、保存中の温度管理も厳しく求められ、「温度計は保存庫の中央でワクチンの側に設置し、1日に2回以上チェックし記録する。記録は3年以上保管する。温度に問題があればすぐに修正し、その際保存されていたワクチンは使用しない。温度管理に責任を持つ職員をおき、さらに補助する者が週1回は記録を確認すべきである。」と明確に記述されています。

国際ロータリー第2650地区
2020-21年度 ガバナー

松原 六郎



ワクチンを必要としている国は、コールドチェーンを厳格に守るために、電気・交通などインフラ、人員の教育訓練などが不可欠であることにお気づきでしょう。それが、戦争地域となるとさらに大変な作業になるのです。我々が忘れてはいけないことは、例えばポリオワクチンの支援について、支援しているのがWHO、ユニセフ、CDC、ビルゲイツ財団、そして国際ロータリーだけではないことなのです。日本を始め、多くの国の政府も多額の援助をしているのです。ただし、各国政府の援助にはどうしても制限があるのです。

理解できないという方もおられるかもしれません。政府はワクチンそのものの支援はしやすいのですが、例えばワクチン運搬用のトラックやエンジン付きの船となると、そのトラックや船に銃座をつけられて、利用される可能性に対してとても神経を使わざるを得ないのです。ですから、どうしても我々がその部分を手伝う必要が出てくるのです。また、冷却装置を動かすためのソーラーシステムや教育支援などについても、ポリオワクチンだけでなく、今後も続ける必要がある支援なのです。さらには、コールドチェーンから外れますが、使用後の針や医療材料を廃棄するための焼却炉も欠かせない設備なのです。

これらのロータリーにしかできない支援ミッションは、ずっと続ける必要があることをどうかご理解いただければと思います。これからも子供たちが笑顔でいられるために。

松原 六郎

ガバナー公式訪問！

残暑厳しい季節からスタートした公式訪問でしたが、あっという間に秋がきて、皆様のクラブに向かう車窓から見える山々の木々が、黄色や紅に色づき、日一日その色が濃くなっていくのを感じられます。

ほとんどの訪問が好天に恵まれ、皆様の温かいお迎えを受け、ありがたく且つ有意義な訪問を続けられております。

これから冬に向かい、寒さ厳しい気候の中での訪問になるかもしれませんが、何卒よろしくお願いたします。

ガバナー 松原 六郎



10月14日 高島RC



10月15日 京都北東RC



10月15日 京都洛北RC



10月16日 京都市陽RC



10月16日 京都山城RC



10月20日 京都洛南RC



10月20日 京都伏見RC



10月22日 栗東RC



10月22日 草津RC



10月22日 びわ湖八幡RC



10月22日 近江八幡RC



10月22日 五個荘能登川RC



10月26日 京都西RC



10月27日 京都洛中RC



10月28日 京都RC



10月29日 京都南RC



10月30日 京都東RC



10月30日 京都東山RC



11月2日 京都北RC



11月2日 京都紫竹RC



11月2日 京都紫野RC



11月4日 福井北RC・福井西RC



『ロータリーを誇りに思う』

滋賀第1グループ担当
ガバナー補佐

山田 督

今回のコロナ禍で、さすがロータリーと誇りに思ったことを二つ述べたい。

一つ目は、ロータリアンの奉仕に対する熱き心である。予定していた社会奉仕事業などが全て中止に迫り込まれる中、何とか地域社会に貢献し奉仕の理念を実践しようと、多くのクラブが「物品寄贈」や「資金支援」を敢行した。中には、日本からマスクが完全消滅していた時に、メンバーの個人ルートを通じて調達に成功、地元から大変喜ばれたと聞く。ロータリーの面目躍如である。ただ、これらの奉仕は安易すぎるとか、メンバー一人ひとりが汗を流す個人奉仕の基本に反しないかとのご批判があるかも知れない。しかし、非常時で

あり、時間との闘いであったことを考えれば、さすがという他になく私は大いに誇りに思う。

二つ目は、例会休会中でも週報の発刊を継続したクラブがあったことである。送付された週報を読み、元氣と勇気を貰ったメンバーも多かった筈である。私もその一人である。



東北復興を支援

グローバル補助金委員会
委員長

柳澤 育代

松原六郎ガバナーは、就任のご挨拶で、水仙の花の話がされました。9年前の東北の被災者へ、哀悼の意を込め、水仙の花を被災地へ届けられたそうです。水仙は、橋の上に並べられた、たくさんの小さな遺体に飾られました。東日本大震災から、2021年で10周年を迎えます。第2650地区のグローバル補助金事業として、10周年の東北支援では、被災地で力強く咲く野の花をテーマにしております。野に咲く花は、精神的にも心を癒すという研究結果が出ています。同じような被災を経験したNY同時多発テロの9.11被災者は、その教訓を生かし3.11の悲劇を決して忘れな

いで欲しいと東北を長期に渡り支援しています。NYの災害精神科医は言いました、「災害被災者の支援は、短距離走ではなく、マラソンです。」長い復興を支え続ける、長期的な支援が、震災の復興には必要です。被災者と足並みを揃え、被災地を忘れる事なく共に走り続けて参ります。



写真は、福島県在住、写真家野口勝宏によるフォトフレーム。



例会の継続を

京都南部第1グループ担当
ガバナー補佐

藤野 好

ガバナー補佐を拝命して早3年目を迎えさせて戴きました。今年度3月頃より新型コロナウイルス感染症により多くの事業が延期や中止に追い込まれました。特に周年事業を計画されておられたクラブ様にとっては何となく仕打ちで有りました、例会も開催も出来ない未曾有の経験を致しました。

ガバナーの地区スローガンの3つの方針に遵守しながらこの危機に対処して行かねばなりません。対外奉仕や親睦はこの状況時では感染リスクが多分に有ります、3密防止を模索してもリスク回避とはいえません、自分自身がうつさないうつらないを遵守して行かねばなりません。この現状では過去の姿の対外奉仕が難しい時でも有ります、この時にクラブ奉仕や職業奉仕でロータリー活動を推進して行くべきと考えます。コロ

ナ発生以降例会も満足に開催されない時には私達が感じた事は、ロータリーの例会で会員仲間と会えない事や会話も出来ない程惨い体験を致しました。この難局時こそ会員同志が顔と顔を突き合わせてロータリー談義に話を咲かせる時と思うのですが。この難局期間にクラブの問題点を洗い出して今後何をすべきかを問い、地域ロータリー奉仕活動やクラブの方向性を決めて行く良い機会にしたいものです。



グローバル補助金奨学金制度について

財団奨学金・平和フェロウシップ委員会
委員長

渡邊 倫久

グローバル補助金奨学金制度は、海外の大学院レベル以上の研究機関への留学計画を持つ研究者を支援するプログラムです。

当委員会は、国際ロータリー財団の方針に沿って募集と資格選考を行い、通過者を候補者としてクラブ皆様に推薦いたします。推薦がクラブ皆様の事業方針と合致する場合、皆様には候補者と二人三脚で国際ロータリー財団への申請手続きに取り組んでいただきます。留学出発日の約3ヶ月前までに申請手続きが終わり承認を得ることができれば、出発日までに奨学金が授与されます。

新設より3年目となる当委員会は候補者の募集から派遣に至るまでの手順を整理し、更に昨年度は学部生

に向けての広報も進め、この結果9名を推薦する事ができました。しかしながら、新型コロナウイルスの影響により候補者の多くが計画の延期を判断せざるを得なくなり、委員会としては様々な情報を集めながら対応を進めてきたところです。

このような状況ですが引き続き真摯に向き合い、若者とクラブ皆様のお役に立ちたいと考えます。



命を守り、経済を守る

— 原点に戻ろう —

やはり新型コロナウイルスが再び蔓延し始めています。ヨーロッパやアメリカは再びロックダウンというような事態に近づきつつあります。日本でも北海道や大都市圏を中心に感染者が拡大傾向にあります。札幌ではあの「自粛要請」の再来が訪れつつあります。医療者たちも、「医療崩壊」という嫌な言葉を思い出し始めています。しかし、これ以上経済活動を止めることはできません。企業へのダメージが大きすぎます。そのことは医療者たちも痛いほどわかっています。多くの医療機関で受診する患者さんの数が減少していることも理由の一つです。それでは、もはや感染を食い止めることはできないのでしょうか。

テレビのニュース番組などをみていると、欧米に比べて日本に住む我々の方がちゃんとマスクをつけて外出していることが明確に分かります。インタビューでそのことを聞くと、欧米では「マスクは馬のクツワと同じで、耐えられない。」「自由が奪われることが嫌で、反抗している。」とまで言っています。一方日本では、「感染したくない」という理由だけでなく、「周囲に感染させてしまうような

迷惑をかけたくないからマスクをつける。」といった具合で、考え方が根本から違ってきます。そんな日本でなぜ、再び感染拡大が始まったのでしょうか。

答えは非常にシンプルです。「3密を避け、マスク着用と手洗いを実行する。」に対して、少し気の緩みが出てきているのでしょうか。正しいマスクの使用、トイレから出るときや帰宅時の手洗いやアルコール消毒の徹底、これら全てが、「形だけ」となりつつあるのでしょうか。きっと、酒や食事を提供する場所でも、「形だけ」が広がっているのでしょうか。店側がどんなに工夫や努力をしても、お客が理解・協力してくれなければ、彼らのお客を守ろうとする誠意とおもてなしの心が台無しになっているに違いありません。店側の苦しい思いは簡単に想像できます。例えばマスクから鼻を出して喋っている人に「お客さん、マスクをちゃんとつけてくださいませませんか。」とはなかなか言えないことです。

全ての人がもう一度感染予防の基本に戻り、一つ一つの行為を丁寧に実行する。それが、いやそれのみが、人の命を守り、経済を守る唯一最大の方法なのです。

2020年9月会員数の増減および出席率表

京都府 (42クラブ)	前月末 会員数	入会	退会	9月末 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会数	出席率 %	女性 会員数
綾部	30	0	0	30	28	2	0	3	100.00	1
福知山	52	0	1	51	51	2	2	4	93.07	0
福知山西南	48	0	0	48	48	1	1	4	95.31	2
亀岡	38	0	0	38	38	0	0	4	100.00	0
亀岡中央	17	0	0	17	17	0	0	1	62.50	1
京丹後	26	0	0	26	26	0	1	3	85.75	2
京都	191	10	1	200	191	10	1	5	—	0
京都伏見	92	0	0	92	92	0	0	3	100.00	8
京都平安	23	0	0	23	24	0	1	3	82.61	4
京都東	83	0	0	83	84	0	1	4	99.68	0
京都東山	62	0	0	62	63	0	2	2	69.16	6
京都北東	25	0	0	25	23	2	0	4	82.50	1
京都イブニング	20	0	0	20	19	1	0	4	100.00	2
京都市陽	32	0	0	32	32	0	0	4	100.00	3
京都桂川	31	0	1	30	31	0	1	4	100.00	0
京都北	66	0	0	66	64	2	0	2	—	0
京都市南	244	0	1	243	246	0	5	4	—	0
京都モーニング	46	1	0	47	46	1	0	4	100.00	6
京都紫野	48	0	1	47	48	0	1	3	100.00	0
京都中	35	0	0	35	34	1	0	3	100.00	0
京都西	96	3	0	99	97	3	1	3	100.00	0
京都乙訓	35	0	0	35	35	0	0	0	—	1
京都洛中	77	0	0	77	77	0	0	4	100.00	0
京都洛北	66	2	0	68	66	2	0	4	100.00	0
京都洛南	31	0	0	31	31	0	0	4	100.00	2
京都洛西	42	0	0	42	39	3	0	4	100.00	6
京都洛東	48	0	1	47	48	0	2	4	89.59	0
京都嵯峨野	18	0	0	18	18	0	0	3	74.51	0
京都さくら	28	0	0	28	28	0	0	3	100.00	7
京都西北	37	0	1	36	37	0	1	4	100.00	5
京都西南	41	0	0	41	40	1	1	4	84.02	2
京都紫竹	34	0	0	34	33	1	0	3	100.00	3
京都朱雀	35	0	0	35	35	0	0	4	100.00	3
京都田辺	20	1	0	21	19	2	0	3	100.00	4
京都山城	22	0	1	21	22	0	1	3	93.64	0
京都八幡	21	0	0	21	21	0	0	4	83.13	2
舞鶴	24	0	0	24	24	0	0	3	92.34	0
舞鶴東	37	1	0	38	37	1	0	3	96.10	4
宮津	32	0	0	32	32	0	0	4	100.00	0
園部	24	0	0	24	23	1	0	3	100.00	0
宇治	37	0	2	35	37	0	2	2	—	1
宇治鳳凰	41	0	1	40	41	0	1	4	100.00	5
小計	2,055	18	11	2,062	2,045	36	25	3.4		81

奈良県 (14クラブ)	前月末 会員数	入会	退会	9月末 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会数	出席率 %	女性 会員数
あすか	51	0	1	50	51	0	1	3	90.82	1
五條	26	0	0	26	26	0	0	3	97.22	0
平城京	31	0	0	31	30	1	1	0	—	7
生駒	12	0	0	12	12	0	0	3	83.33	1
橿原	42	1	0	43	41	2	0	3	76.72	1
奈良	128	1	0	129	128	1	0	4	100.00	5
奈良東	27	0	0	27	25	2	0	0	—	1
奈良西	42	0	0	42	42	0	0	3	100.00	3
奈良大宮	71	0	0	71	71	0	0	4	95.50	2
桜井	17	0	0	17	17	0	0	4	83.32	5
大和郡山	47	0	0	47	47	0	0	3	91.54	2
やまとまほろば	28	0	0	28	28	0	0	3	82.23	4
やまと西和	22	0	0	22	22	0	0	4	100.00	2
大和高田	93	0	0	93	93	1	1	4	95.38	4
小計	637	2	1	638	633	7	3	2.9		38

福井県 (18クラブ)	前月末 会員数	入会	退会	9月末 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会数	出席率 %	女性 会員数
福井	136	0	0	136	128	9	1	4	81.85	11
福井あじさい	61	1	0	62	60	2	0	3	65.59	5
福井フェニックス	62	0	0	62	59	3	0	0	—	10
福井東	47	0	1	46	47	2	3	3	87.23	9
福井北	102	0	0	102	103	0	1	2	91.63	14
福井南	29	0	0	29	29	0	0	3	94.67	2
福井西	30	0	0	30	30	0	0	3	76.20	3
福井水仙	24	0	0	24	23	1	0	2	72.92	2
勝山	24	0	0	24	24	0	0	2	60.98	3
丸岡	33	0	0	33	33	0	0	2	95.32	1
三国	29	0	1	28	29	0	1	4	83.48	4
大野	40	0	1	39	40	0	1	4	100.00	1
鯖江	38	0	0	38	38	0	0	4	70.10	3
武生	52	0	0	52	50	2	0	4	72.12	5
武生府中	26	0	0	26	24	2	0	4	80.77	0
敦賀	29	0	1	28	29	0	1	3	79.14	1
敦賀西	16	0	0	16	16	0	0	2	84.38	1
若狭	18	0	0	18	18	0	0	3	63.89	1
小計	796	1	4	793	780	21	8	2.9		76

滋賀県 (21クラブ)	前月末 会員数	入会	退会	9月末 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会数	出席率 %	女性 会員数
びわ湖八幡	62	0	0	62	60	2	0	2	100.00	1
五個荘能登川	20	0	0	20	18	2	0	3	91.49	1
東近江	36	0	0	36	37	1	2	2	90.04	2
彦根	56	0	1	55	58	0	3	3	100.00	5
彦根南	61	0	2	59	61	1	3	3	95.36	0
湖南	40	1	0	41	40	1	0	2	97.30	1
草津	31	0	0	31	31	0	0	3	100.00	1
水口	30	2	0	32	31	2	1	2	100.00	1
守山	42	1	0	43	40	3	0	3	98.41	0
長浜	62	0	0	62	59	3	1	3	95.04	0
長浜東	57	1	0	58	55	3	0	4	95.74	0
長浜北	25	0	0	25	24	1	0	4	99.00	3
近江八幡	44	0	0	44	43	1	0	3	100.00	0
大津	110	1	0	111	108	5	2	0	—	4
大津中央	27	0	0	27	27	0	0	2	81.49	6
大津東	25	0	0	25	23	2	0	2	84.00	9
大津西	21	0	0	21	20	1	0	0	—	0
栗東	56	0	0	56	56	0	0	2	100.00	2
高島	49	1	0	50	48	2	0	1	—	1
野洲	38	0	1	37	38	1	2	4	100.00	1
八日市南	46	0	0	46	46	0	0	4	93.98	3
小計	938	7	4	941	923	31	14	2.5		41

Eクラブ (1クラブ)	前月末 会員数	入会	退会	9月末 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会数	出席率 %	女性 会員数
日本ロータリー Eクラブ2650	40	0	1	39	42	1	4	3	—	11
小計	40	0	1	39	42	1	4	3		11

合計 (96クラブ)	前月末 会員数	入会	退会	9月末 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	女性 会員数
小計	4,466	28	21	4,473	4,423	96	54	248

■表作成にあたって

- ・会員数に、名誉会員は含まれておりません。
- ・入退会者数、9月会員数および入退会者累計数は9月末現在です。
- ・「期首会員数」は、2020年6月末会員数より、7月1日退会者を引いた数です。

2020年9月 会員の動き

入 会 者 一 覧

クラブ名	氏 名	職 業 分 類
京 都	三浦 一郎	ガス供給事業
京 都	篠遠 肇	新聞発行
京 都	小野 敬彦	証券会社
京 都	小林 薫	都市銀行
京 都	小林 泰文	信託銀行
京 都	松井 洋昭	リース業
京 都	西尾 大樹	損害保険
京 都	藤澤 正博	証券会社
京 都	百合野正博	商学教育
京 都	名越 健二	一般建築
京都モーニング	藤原 律志	生命保険
京 都 西	吉田 英司	食品卸
京 都 西	石原 收二	牛乳・乳製品卸売
京 都 西	堀越 大輔	総合不動産

クラブ名	氏 名	職 業 分 類
京 都 洛 北	加藤 雅之	金欄卸
京 都 洛 北	村田 裕人	税理士
京 都 田 辺	向井 美智	運送業
舞 鶴 東	迫田 充弘	自動車修理
橿 原	西尾 兆司	不動産売買・仲介・売買
奈 良	前川 貴洋	ダストコントロール
福井あじさい	阿部 和久	新聞配布
湖 南	西田 浩也	車両レンタリース
水 口	小泉 孝久	商業銀行
水 口	青木 和夫	地域金融
守 山	西野 光則	保険業
長 浜 東	大塚 嘉信	IT機器販売
大 津	姫野 忠	損害保険
高 島	伊藤 嘉明	建材販売

退 会 者 一 覧

クラブ名	氏 名
福 知 山	松山 幸寛
京 都	泉 孝英
京 都 南	奥野源太郎
京 都 洛 東	末永 成男
京 都 西 北	有賀 一夫
京 都 山 城	福岡 進
宇 治	山田 定男
宇 治	鈴木 一朗
あ す か	甲斐 公士
福 井 東	瀬戸 佳
三 国	丸小 齊
大 野	藤井 道明
敦 賀	渡辺 一郎
彦 根	小菅 一彦
彦 根 南	所 庄五郎
野 洲	大橋 徳治
日本ロータリーEクラブ2650	宮川 昌一

ご逝去一覧

クラブ名	氏 名
京 都 紫 野	浅野 博久
京 都 桂 川	千田 適
宇 治 鳳 凰	奥山 直秀
彦 根 南	藤居 富造

新型コロナウイルス感染症対策

支え合い特別表彰

新型コロナウイルス感染症拡大防止のための社会奉仕活動として、ロータリー・フェイスシールドを各四府県、京都市に一万個ずつ贈呈し、京都市自治記念式典にて表彰されましたのでご報告します。

(2019-20年度地区災害対策基金特別会計より)



Rotary



奈良
京都
滋賀
福井

国際ロータリー第2650地区

2020-21年度ガバナー 松原 六郎

ガバナー事務所

〒600-8216 京都府京都市下京区東塩小路町614番地 新京都市センタービル5階520号室
TEL: 075-353-2650 FAX: 075-343-2651 E-mail: gov2020-21@rid2650.gr.jp